



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本ピグメント株式会社

コード番号 4119 URL <http://www.pigment.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加藤 龍巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当

(氏名) 今井 信一

TEL 03-6362-8801

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,349	△1.1	657	504.9	696	589.9	382	—
28年3月期第3四半期	30,673	△5.8	108	△21.3	101	△40.0	7	△93.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 111百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △331百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	24.38	—
28年3月期第3四半期	0.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
29年3月期第3四半期	27,049		11,942		41.2	
28年3月期	26,354		11,922		41.8	

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 11,137百万円 28年3月期 11,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,800	△0.6	800	179.2	800	190.7	450	204.5	28.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,758,994 株	28年3月期	15,758,994 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	53,802 株	28年3月期	53,754 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	15,705,231 株	28年3月期3Q	15,706,099 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、個人消費の低迷の底打ち感もあり、緩やかな回復基調を維持するものの、中国経済の減速傾向や、英国の欧州連合離脱、米国の新政権の経済政策など、海外経済の不確実性が高まっていることから、先行き不透明な状況が続いております。

このようななか当社グループにおいては、国内での販売は、自動車産業向けおよび家電産業向けを中心に堅調に推移し、東南アジア地区は一部では受注が伸び悩んだものの、好調なインドネシアが牽引し全体としては想定を上回りました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は 30,349 百万円（前期比 1.1%減）となりましたが、経常利益は販売構成の変化や経費削減効果もあり 696 百万円（前期比 589.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 382 百万円（前期親会社株主に帰属する四半期純利益 7 百万円）となりました。

②企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は、次のとおりであります。

「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に底堅く推移致しましたが、想定までには至りませんでした。

樹脂用着色剤部門は、一部の自動車産業向けやトイレットリー関連及び家電産業向けフィルム等にて比較的堅調に推移したことから、想定を上回る結果となりました。

最後に、加工カラー部門は、一部の自動車産業向けや建材産業向けが比較的堅調に推移し、また、液体分散体が想定以上に堅調であったことから、全体としては想定を上回る結果となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 18,333 百万円（前期比 3.4%増）、営業利益は販売構成の変化や経費削減効果もあり 433 百万円（前期営業損失 33 百万円）となりました。

「東南アジア」

東南アジアは、タイ、中国向けの需要が伸び悩んだものの、インドネシアにおいては国内の自動車産業向けが車輻のモデルチェンジや新車投入があった影響で受注が増加しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は樹脂価格の下落や為替相場での円高の影響もあり 11,546 百万円（前期比 5.0%減）となりましたが、営業利益は 258 百万円（前期比 69.1%増）となりました。

「その他」

その他は、中国での日系自動車関連の受注が伸び悩み、当第3四半期連結累計期間の売上高は 469 百万円（前期比 40.5%減）、営業損失は 34 百万円（前期営業損失 10 百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は27,049百万円と前期末の26,354百万円に比べ695百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は13,947百万円と前期末の13,264百万円に比べ682百万円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が393百万円、受取手形及び売掛金が450百万円それぞれ増加し、原材料及び貯蔵品が82百万円減少したことなどによるものです。固定資産は13,102百万円と前期末の13,089百万円に比べ12百万円の増加となりました。この主な要因は投資その他の資産が282百万円増加し、有形固定資産が267百万円減少したことなどによるものです。

負債は15,106百万円と前期末の14,432百万円に比べ674百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,192百万円と前期末の10,738百万円に比べ454百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が607百万円、未払法人税等が137百万円それぞれ増加し、短期借入金が246百万円、賞与引当金が89百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定負債は3,914百万円と前期末の3,693百万円に比べ220百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金139百万円、繰延税金負債が184百万円それぞれ増加し、退職給付に係る負債が81百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は11,942百万円と前期末の11,922百万円に比べ20百万円の増加となりました。この主な要因はその他有価証券評価差額金が406百万円、利益剰余金が304百万円それぞれ増加し、為替換算調整勘定が636百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期における通期の業績予想につきましては、平成28年10月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、役員退職慰労金制度の廃止に伴い、平成28年6月29日に開催された定時株主総会において退任取締役および退任監査役に対する退職慰労金の贈呈と併せて、重任となる取締役に対し、本制度廃止の日までの在任期間に対する退職慰労金を打ち切り支給することを決議いたしました。

これにより、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、固定負債「その他」に63,662千円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,265,804	2,659,765
受取手形及び売掛金	6,480,018	6,930,958
製品	1,940,913	1,956,168
原材料及び貯蔵品	1,967,548	1,885,009
その他	611,198	516,314
貸倒引当金	△873	△917
流動資産合計	13,264,610	13,947,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,786,246	2,511,535
土地	3,625,999	3,568,114
その他(純額)	1,874,304	1,939,568
有形固定資産合計	8,286,549	8,019,218
無形固定資産	33,744	30,960
投資その他の資産		
投資有価証券	4,249,939	4,500,380
その他	533,572	574,376
貸倒引当金	△13,865	△22,301
投資その他の資産合計	4,769,646	5,052,455
固定資産合計	13,089,940	13,102,634
資産合計	26,354,551	27,049,934
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,563,714	6,171,114
短期借入金	4,082,729	3,835,775
未払法人税等	58,610	195,623
賞与引当金	193,198	103,264
その他	840,166	887,103
流動負債合計	10,738,419	11,192,881
固定負債		
長期借入金	2,490,150	2,629,316
繰延税金負債	677,339	861,557
役員退職慰労引当金	84,791	-
退職給付に係る負債	441,488	359,537
その他	-	63,662
固定負債合計	3,693,769	3,914,072
負債合計	14,432,188	15,106,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	8,126,158	8,430,629
自己株式	△16,076	△16,086
株主資本合計	10,638,942	10,943,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956,886	1,363,317
為替換算調整勘定	△239,139	△875,743
退職給付に係る調整累計額	△350,668	△293,483
その他の包括利益累計額合計	367,078	194,089
非支配株主持分	916,341	805,486
純資産合計	11,922,362	11,942,979
負債純資産合計	26,354,551	27,049,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	30,673,831	30,349,664
売上原価	28,338,291	27,577,234
売上総利益	2,335,540	2,772,430
販売費及び一般管理費	2,226,893	2,115,225
営業利益	108,646	657,204
営業外収益		
受取利息	10,238	6,067
受取配当金	62,304	63,295
持分法による投資利益	-	8,268
その他	76,619	67,346
営業外収益合計	149,162	144,978
営業外費用		
支払利息	76,027	71,456
持分法による投資損失	47,587	-
その他	33,168	33,743
営業外費用合計	156,782	105,199
経常利益	101,026	696,982
特別利益		
固定資産売却益	1,917	5,784
投資有価証券売却益	-	71,276
特別利益合計	1,917	77,061
特別損失		
固定資産除売却損	1,182	2,879
その他の投資評価損	-	27,764
貸倒引当金繰入額	-	8,436
債務保証損失	-	46,953
その他	-	5,182
特別損失合計	1,182	91,217
税金等調整前四半期純利益	101,761	682,827
法人税、住民税及び事業税	43,683	188,041
法人税等調整額	28,295	60,921
法人税等合計	71,978	248,963
四半期純利益	29,782	433,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,840	50,866
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,942	382,997

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	29,782	433,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,529	406,430
為替換算調整勘定	△442,780	△588,704
退職給付に係る調整額	25,236	54,597
持分法適用会社に対する持分相当額	△138,885	△195,186
その他の包括利益合計	△360,898	△322,862
四半期包括利益	△331,116	111,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△327,417	210,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,698	△99,007

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,729,611	12,154,104	29,883,715	790,116	30,673,831	—	30,673,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	123,054	444	123,498	—	123,498	△ 123,498	—
計	17,852,665	12,154,549	30,007,214	790,116	30,797,330	△ 123,498	30,673,831
セグメント利益又は損失(△)	△ 33,568	152,853	119,284	△ 10,637	108,646	—	108,646

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,333,232	11,546,634	29,879,867	469,797	30,349,664	—	30,349,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	176,645	—	176,645	9,961	186,607	△ 186,607	—
計	18,509,878	11,546,634	30,056,513	479,758	30,536,272	△ 186,607	30,349,664
セグメント利益又は損失(△)	433,701	258,427	692,129	△ 34,925	657,204	—	657,204

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。